

県内における太陽光パネル排出量・処理費に係る試算について（報告）

令和 2 年 8 月 24 日 環境生活部資源循環推進課

標記について、全量が廃棄された場合の試算結果（2040 年ごろのピーク時）は次のとおりです。

- ・ 県内の太陽光パネル年間排出量 約 7,750 t/年
- ・ 県内の太陽光パネル年間処理費 約 10～18 億円/年

なお、環境省資料によれば、排出量が増加するのは早くとも 2032 年以降となりますので、次期環境基本計画期間よりも後の時期と想定されます。

おって、本年 6 月の再エネ特措法改正により、太陽光発電事業認定事業者に対し、太陽光発電設備の解体・廃棄等に係る経費の外部機関への積立てが義務付けられています。また、現在、環境省において、使用済太陽光パネルのリユース及びリサイクルに向けた検討が行われていますので、排出量の多くがリユース等に回る可能性があります。

1 試算結果

（1）県内の太陽光パネル年間排出量（2039 年）

全国排出量 775,085（t/年）×岩手県の割合 約 1% = 7,750（t/年）

（2）県内の太陽光パネル年間処理費（2039 年）

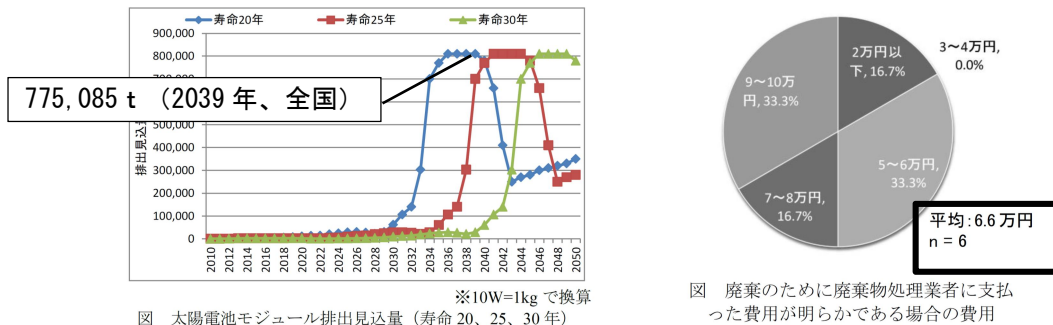
試算① 7,750（t/年）×6.6（万円/件）/（0.3（t/件）） = 17.05億円

試算② 7,750（t/年）×6.6（万円/件）/（4.89（kW/件）×0.06（t/kW）） = 17.44億円

試算③ 7,750（t/年）×10（kW/t）×6.6（万円/件）/（4.89（kW/件）） = 10.46億円

【主な参照データ】

（1）太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（H28.3環境省）



（2）平成29年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報等の整備・公開に関する委託業務報告書（H31.3環境省）

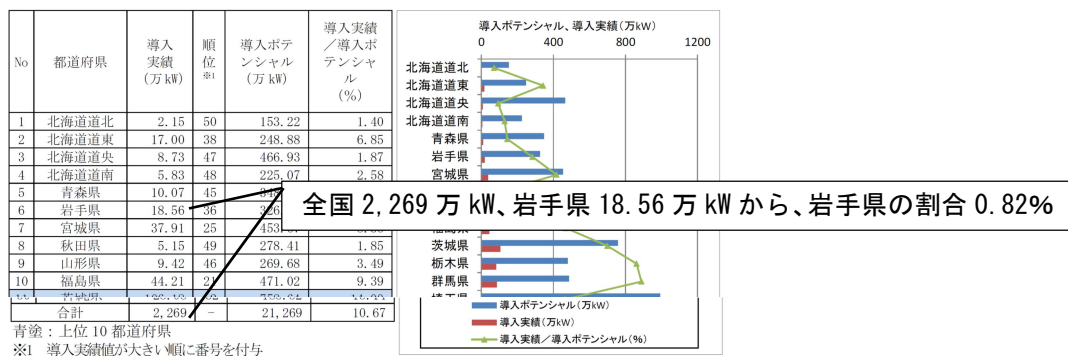


図 7.2-5 太陽光発電（500kW 未満）の都道府県別導入実績及び導入ポテンシャル

（3）固定価格買取制度 情報公表用ウェブサイト（経済産業省資源エネルギー庁）

2020年 3 月末現在新規認定（10kW未満）の導入量、件数より

- ・ 岩手県導入量が全国に占める割合 = $83,539 \text{ (kW)} \div 6,912,757 \text{ (kW)} = 1.2\%$
- ・ 岩手県の 1 件当たり導入量の平均 = $83,539 \text{ (kW)} \div 17,100 \text{ (件)} = 4.89 \text{ (kW/件)}$